

SDGs未来都市等進捗評価シート

2018年度選定

静岡県静岡市

2021年8月

SDGs未来都市計画名

静岡市 SDGs未来都市計画

自治体SDGsモデル事業
又は特に注力する先導的取組

—

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(1) 計画タイトル

静岡市 SDGs未来都市計画

(2) 2030年のあるべき姿

静岡市基本構想が定める『世界に輝く静岡』の実現に向け、本市が進めている5大構想（「健康長寿のまち」の推進、「まちは劇場」の推進、教育文化の拠点づくり、歴史文化の拠点づくり、海洋文化の拠点づくり）が成就した姿

(3) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール

経済					社会					環境			
8	8	9	11	12	10	1	3	4	8	9	17	12	14

(4) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2020年（現状値）		2030年（目標値）		達成度（%）
1	静岡シチズンカレッジ「こ・こ・に」を受講した人たちのうちシチズンシップが身についた人の割合【1.2,4.1,8.6,17.17】	2017年3月 98.9 %	2020年	98.5 %	2030年	100 %	-36%
2	演劇・ダンスを中心とした文化芸術イベント「ストレンジシード」来場者数【8.9】	2017年3月 7,190 人	2020年	11,592 人	2030年	43,720 人	12%
3	関連施設・イベント入込客数（駿府城公園・静岡まつり等）【8.9】	2014年3月 2,116 千人	2020年	2763 千人	2030年	2,960 千人	77%
4	歩行者通行量【8.9,11.7】	2015年3月 6,445 人	2020年	4,218 人	2030年	8,253 人	-123%
5	ロジスティクス関連企業立地件数【9.2,14.b】	2014年3月 3 件	2020年	5 件	2030年	5 件	100%
6	一人一日当たりのごみ総排出量【12.3】	2014年3月 1,008.0 g/人日	2020年	900 g/人日	2030年	810 g/人日	55%
7	主要な通りの店舗・事業所数【16.7】	2015年3月 540 件	2020年	567 件	2030年	580 件	68%
8	歴史や文化を身近に感じることができる街だと思う市民の割合【16.7】	2015年3月 63.8 %	2020年	61.8 %	2030年	100 %	-1%
9	静岡シチズンカレッジ「こ・こ・に」を受講した人たちのうちシチズンシップが身についた人の割合（再掲）【1.2,4.1,8.6,17.17】	2017年3月 98.9 %	2020年	98.5 %	2030年	100 %	-36%
10	セーフティーネットが整備されているまちと思う市民の割合【3.4】	2014年3月 32.0 %	2020年	43.3 %	2030年	48 %	71%

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2020年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
11	65歳以上高齢者の地域貢献活動に対する満足度【8.5】	2017年3月 85.0 %	2020年 93 %	2030年 97 %	67%
12	J R草薙駅周辺整備事業の進捗率【9.1】	2017年3月 75.4 %	2020年 98.2 %	2030年 100 %	93%
13	清水港の航路数【9.5】	2013年3月 23.0 航路	2020年 26 航路	2030年 27 航路	75%
14	コンテナ取扱量【9.5】	2013年3月 498,726 TEU	2020年 514,239 TEU	2030年 676,400 TEU	8%
15	メール配信された高齢者と家族への支援の実施【17.17】	2017年3月 100 %	2020年 100 %	2030年 100 %	100%
16	学校訪問コンサート実施校数【17.17】	2017年3月 14 校	2020年 6 校	2030年 14 校	42%
17	一人一日当たりのごみ総排出量（再掲）【12.3】	2014年3月 1,008 g/人日	2020年 900 g/人日	2030年 810 g/人日	55%
18	排水基準遵守率【14.1】	2017年3月 93 %	2020年 93 %	2030年 100 %	93%
19	ロジスティクス関連企業立地件数（再掲）【9.2,14.b】	2014年3月 3.0 件	5.0 件	2030年 5.0 件	100%

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(5) 「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

【順調に進捗したもの】

No.3について、新型コロナウイルス感染症の影響により当初想定の実施はできなかったが、感染症対策等を踏まえた新たな形式での事業を試行し、情報発信やプロモーションを工夫して、認知度向上に一定の効果を得られた。

No.5について、官民連携によるポートセールス及び清水港利活用促進や経営課題解決のためのセミナーを開催したことで、企業立地に結びつけることができた。

No.18について、立ち入り検査時に自主測定の実施及び排水処理施設等の適正な維持管理を指導し、排水基準の適合を図ることができた。

【進捗が思わしくなかったもの】

No.4について、周辺イベントの開催や天候、新型コロナウイルス感染症の影響など外的な要因が考えられる。個店に対しては魅力向上の支援を行い、商店街に対しては、各種補助金により活性化を促し、まちに対しては市が目指す商業環境の形成等により、豊かに暮らしやすい商業環境を促進及び商業の振興を図っていく。

No.8について、身近に感じる割合は低かったが、歴史文化施設建設に重点的に取り組むほか、駿府城跡天守台発掘調査現場を見える化することにより、歴史学習の場や観光資源として活用することで地域の歴史文化への関心喚起を図っていく。

No.14について、コンテナ取扱量が減少し進捗は思わしくなかったが、新たに清水港を利用する船社・荷主に対する港湾使用料の助成を行い、今後の取扱量の促進を図った。

【情報発信・普及啓発】

○SDGs市民認知度：66.0%（令和3年3月時点） ※28.8%（平成31年1月時点）、46.5%（令和2年2月時点）

○SDGs宣言事業所・団体：令和3年7月末時点 334件

○静岡市SDGs連携アワード

今年度新規事業。2以上の事業所・団体が連携して実施した取組で、汎用性が高い取組を表彰。現在応募受付中（令和3年9月24日〆切）

【ステークホルダーとの連携】

○自治体間の連携

SDGsシーズン期間中に開催した展示事業について、未来都市に協力を依頼。53の未来都市の取組について庁舎で展示を実施。

また、令和3年3月14日開催の「静岡市SDGsフォーラム（オンライン）」にさいたま市長、徳島市長に登壇いただき、各自治体の取組について、国内外への情報発信を連携して実施。

○国際的な連携

令和3年3月14日の「静岡市SDGsフォーラム（オンライン）」にアメリカ・ハワイ州（SDGsハブ都市）のイゲ州知事に登壇いただき、ハワイ州におけるSDGsの取組を国内で発信。以後、今後の連携や互いの取組について意見交換・情報共有を実施。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2018年～2020年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2018年実績	2019年実績	2020年実績	2020年目標値	達成度(%)
1	健康寿命75歳への延伸	セーフティネットが整備されているまちと思う市民の割合	2013年度 32 %	2018年度 39.5 %	2019年度 37.3 %	2020年 43.3 %	2020年 38.0 %	188%
		65歳以上高齢者の地域貢献活動に対する満足度	2016年度 85 %	2018年度 90.6 %	2019年度 92.0 %	2020年 93.0 %	2020年 87.0 %	400%
2	自宅でずっと暮らせるまちづくり	メール配信された高齢者と家族への支援の実施	2016年度 100 %	2018年度 100 %	2019年度 100 %	2020年 100 %	2020年 100 %	100%
3	わくわくドキドキの仕掛けづくりと人材育成	演劇・ダンスを中心とした文化芸術イベント「ストレンジシード」来場者数	2016年度 7,190 人	2018年度 9,925 人	2019年度 17,852 人	2020年 11,592 人	2020年 15,620 人	52%
		学校訪問コンサート実施校数	2016年度 14 校	2018年度 14 校	2019年度 14 校	2020年 6 校	2020年 14 校	42%
4	公共空間の積極的な活用による文化・クリエイティブ活動の「舞台」の創出	関連施設・イベント入込客数（駿府城公園・静岡まつり等）	2013年度 2,116 千人	2018年度 2,324 千人	2019年度 2,236 千人	2020年 2,763 千人	2020年 2,435 千人	202%
		歩行者通行量	2014年度 6,445 人	2018年度 6,919 人	2019年度 6,538 人	2020年 4,218 人	2020年 7,123 人	-328%
5	教育文化の香りが漂う都市空間の創造	JR草薙駅周辺整備事業の進捗率	2016年度 75.4 %	2018年度 95.6 %	2019年度 98.0 %	2020年 98.2 %	2020年 100.0 %	92%
6	高等教育をはじめとした学習機会の提供とシチズンシップに富んだ人材の養成	静岡シチズンカレッジ「こ・こ・に」を受講した人のうちシチズンシップが身についた人の割合	2016年度 98.9 %	2018年度 94.9 %	2019年度 99.0 %	2020年 98.5 %	2020年 100 %	-36%
7	歴史文化の伝承と新たな魅力の創出による風格ある街並みの形成	歩行者通行量（再掲）	2014年度 6,445 人	2018年度 6,919 人	2019年度 6,538 人	2020年 4,218 人	2020年 7,123 人	-328%
		主要な通りの店舗・事業所数	2014年度 540 件	2018年度 548 件	2019年度 559 件	2020年 567 件	2020年 555 件	180%
8	駿府城公園周辺における賑わいと潤いのある新たな公共空間の創造	関連施設・イベント入込客数（駿府城公園・静岡まつり等）（再掲）	2013年度 2,116 千人	2017年度 2,324 千人	2019年度 2,236 千人	2020年 2,763 千人	2020年 2,435 千人	202%
		歴史や文化を身近に感じることができる街だと思える市民の割合	2014年度 63.8 %	2018年度 62.6 %	2019年度 64.1 %	2020年 61.8 %	2020年 73.8 %	-20%
9	「働くみなと」「楽しむみなと」を加えた求心力の強い港町の創生	清水港の航路数	2012年度 23 航路	2018年度 27 航路	2019年度 26 航路	2020年 26 航路	2020年 27 航路	75%
		コンテナ取扱量	2012年度 498,726 TEU	2018年度 567,460 TEU	2019年度 557,400 TEU	2020年 514,239 TEU	2020年 646,600 TEU	10%
10	産官学官民連携による「海洋文化拠点」の形成	ロジスティクス関連企業立地件数	2013年度 (2008-2013 期間計) 3 件	2018年度 (2016-2019 期間計) 9 件	2019年度 3 件	2020年 (2019-22 期間計) 5 件	2020年 (2019-22 期間計) 4 件	200%
		一人一日当たりのごみ総排出量	2013年度 1,008 g/人日	2018年度 935 g/人日	2019年度 940 g/人日	2020年 900 g/人日	2020年 975 g/人日	327%
		排水基準遵守率	2016年度 93 %	2018年度 96 %	2019年度 93 %	2020年 93 %	2020年 100 %	93%

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2018年～2020年

(2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

令和元年10月から開始した「静岡市SDGs宣言事業」は、商業、福祉、金融をはじめ様々な業種・団体から、令和3年7月末時点で334事業所・団体が宣言を寄せている。「SDGs」を共通言語として商業、福祉、金融など多様な業種・団体から構成され、事業や活動はそれぞれ異なっているが、いずれもSDGs達成を目指し2030年に向けた取組を進めている。

事業所・団体相互の取組や情報を共有する体制は既に構築されている。今後は、事業所・団体の活動の裾野を広げるとともに、これまで各事業所・団体が個別に取り組んできた活動をつなぎ合わせていくため、相互の連携を支援する体制を構築する。

(3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

【順調に進捗したもの】

No.1 「65歳以上高齢者の地域貢献活動に対する満足度」についてシニアサポーター制度により地域貢献活動を行った方の満足度は高かったが、新型コロナウイルス感染症の影響により介護施設でのボランティアの受け入れが制限されたことからサポーターの数が減少した。サポーターの増加に向け、被保険者証の送付に合わせ周知チラシを同封するなど対応していく。

No.7について、中心市街地活性化基本計画の推進などが着実に進められ、主要な通りの店舗・事業所数が増加している。

【進捗が思わしくなかったもの】

No.4 「歩行者通行量」について、周辺イベントの開催や天候、新型コロナウイルス感染症の影響など外的な要因が考えられる。個店に対しては魅力向上の支援を行い、商店街に対しては、各種補助金により活性化を促し、まちに対しては市が目指す商業環境の形成等により、豊かに暮らしやすい商業環境を促進及び商業の振興を図っていく。【再掲】

No.8 「歴史や文化を身近に感じることができる街だと思える市民の割合」について、身近に感じる割合は低かったが、歴史文化施設建設に重点的に取り組むほか、駿府城跡天守台発掘調査現場を見える化することにより、歴史学習の場や観光資源として活用することで地域の歴史文化への関心喚起を図っていく。

No.9について、コンテナ取扱量が減少し進捗は思わしくなかったが、新たに清水港を利用する船社・荷主に対する港湾使用料の助成を行い、今後の取扱量の促進を図った。【再掲】

(4) 有識者からの取組に対する評価

・SDGsの市民認知率、宣言事案件数で目標が達成されており、評価できる。

・認知度の向上が順調に伸びているのは政策的な取り組みの成果だと思料する。一方で、コロナでマイナスになったものをどのように計画通りのパスに乗せていくかはしっかりと今後検討が期待される。

・幅広い社会的な取り組みが行われており、これが地域経済の活性化に展開するための協議の機会、プロセス、カーボンニュートラルに貢献することへの道筋の検討を期待する。